



嚶鳴同窓会報

第51号

編集発行所
〒990-2492
山形市鉄砲町一丁目15-64
山形県立山形西高等学校
嚶鳴同窓会
連絡先 080-7893-1641



就任にあたって

会長 齊藤 明 美 (昭和54年卒)

嚶鳴同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。令和7年度より、嚶鳴同窓会長を務めさせていただきますことになりました昭和54年卒の齊藤明美でございます。

鳴同窓生であることを、改めて「誇り」に思いました。私は、この伝統を引き継ぎ、嚶鳴精神を心に据え、鈴木副会長、石川副会長、評議員、そして多くの同窓生の皆様と共に、新たな一歩を切り開いていく所存でございます。

私は小笠原悦子前会長の下で、令和4年4月より鈴木京美副会長と共に副会長を務めてまいりました。その間、新型コロナウイルス感染症防止のため、同窓会活動も制限を余儀なくされました。さらに、同窓会運営を学校から独立させ、嚶鳴会館に事務室を設置し、事務局長を配置する体制転換を行いました。小笠原前会長の変革推進の姿を間近に見てきた私は、同窓会運営を引き継ぐという大任に、責任の重さを痛感し、身が引き締まる思いでございます。

今後とも同窓会活動へのご理解と、より一層のご支援をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

「同窓会の伝統を引き継ぎ、変革を進める。」という課題の中、令和7年度第1回評議

員会が開かれ、その会議の中で、「旧校歌をどう考えれば良いのか」と意見が出されました。

その発言に対し、「戦前に卒業された方々は、旧校歌を歌っていた。母たちが歌った校歌を1年に1回聞くことができるのは嬉しい。」「女子師範学校の時代にも歌われていた歌。旧校歌に馴染みのない学年が増えてきているからこそ、同窓会総会で旧校歌を聞かせてもらえるのは良い機会だ。」「現役西高放送部から、

令和7年度 総会のお知らせ

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

●とき
令和7年11月9日(日)
13時30分～16時00分

●ところ
パレスグランドール
(山形市荒瀬町1-17-40)

●参加費
3,000円(当日集金)
お茶とケーキ、お土産付

●内容
議事
・アクション
・動画上映
・嚶鳴女声合唱団の演奏

●申し込み締切
9月18日(木)

●申し込み方法
嚶鳴同窓会ホームページ「出欠フォーム」、はがき、事務局メールのいずれかで申し込みください。

おうめいどうそうかい

検索



(二次元コード)

山形西高校長2年目になりました佐藤正寿と申します。よろしく願います。

嚶鳴同窓会の皆様には、母校の発展のために、日頃よりご高配を賜り深く感謝申し上げます。

1年間本校の生徒たちの様子を見てきました。頑張り屋が多く忙しいですが、充実した高校生活を送っていると思います。

部活動については、現在、加入するか否かは任意となっていますが、約96%の生徒がいずれかの部に加入し、熱心に活動しています。今年度の全国高校総体は登山競技(団体)とフェンシング競技(個人)に出場します。フェンシングにつきましては部は設置しておりませんが校外で活動している生徒の出場を許可しています。また、全国高等学校総合文化祭には書道、美術、放送、弁論、新聞の5部門に生徒が参加します。

昨年度の嚶鳴同窓会報でスクール・ミッションとスクール・ポリシーを紹介いたしました。が、グローバルな人材育成が本校のミッションとなっており、「グローバル人材」とは、世界を視野に入れて地域で活動する人を指す言葉です。本県では昨年、外国人が県人口の1%を超えましたが、どこでどのような仕事をするにしても外国人を含む多様な人と関わるこれがこれからの各分野のリーダーには求められていると思います。

そのようなことを踏まえて、昨年度は外部業者に委託してグローバル・スタディーズ・プログラムを校内で開催しました。3日間、英語だけを使ってディスカッションやプレゼンに取り組み、グローバルリーダーとしての資質能力の伸長に励みました。参加した約30名の生徒はそれぞれ自分の殻を破って成長してくれました。このプログラムは今年度も実施する予定です。

また、本年4月に本校はユネスコスクールとしてユネスコの理念(世界平和等)を学校の学びの中に取り入れる学校です。ユネスコスクールとしても世界のユネスコスクールと交流し、活動の幅を少しずつ広げていけばと考えております。

引き続き、母校の後輩達の様々なことへの挑戦とそれを支える教職員に温かいご支援をいただければ幸いです。

*「グローバル」とは、グローバル(地球規模とローカル(地域)とを組み合わせた言葉

グローバルリーダーの育成を目指して

校長 佐藤 正寿

スクール・ポリシー
はこちらからお読み
いただけます。



繋ぐ世代を超えて

令和6年度嚶鳴同窓会総会

令和6年度の総会は、5年ぶりに県内外の同窓生の皆様へのお声がけが可能となり、吉村美栄子知事をはじめとした来賓の方々や、めでたく喜寿を迎えられた先輩方をご招待し、令和6年11月10日(日)パレスグランドホールにて和やかに開催することができました。

様々な「思い」や、同窓生・在校生・先生方など山形西高に関わる多くの「人」を繋ぐ場となるような同窓会を目指し、実行委員会が作成したスベシヤルムービーの上映を行いました。喜寿の先輩方の時代の懐かしい校舎や部活動の様子、学校行事、制服の着方やソックスの変遷など時代の流れを感じました。また、ムービーには現在の西高生に出演してもらい、西高の校舎や体育館、学校行事や課外活動の紹介を通して、今へと繋ぐ伝統を再確認することができました。そして、嚶鳴女声合唱団の生演奏と、久しぶりに同窓生同士声を高らかに歌う校歌には心に沁みるものがありました。午後のティータイムのわずかな時間ではありましたが、多くの皆様のご協力を頂戴できたおかげで楽しいひと時を過ごしていただけたのではと思っています。

会場横には「嚶鳴同窓生の活躍」のブースを設けました。現在、山形西高の探求活動として「嚶鳴クリエイティブ・

ラボ」の協力者

をホームページで募集していることもあり、収集したデータで卒業生の活躍をパネルで掲示させていただきました。また、嚶鳴同窓会東京支部のブースも設けられ、「東京支部だより」やオリジナルグッズの販売もありました。

11月に入り外は空気がひんやりしてありますが、ご参会の方々が掲示物を見入るお姿や周りの方と談笑される様子があり、写真を撮ったりグッズを購入したり思い思いの時間を過ごされて、会場内は温かな空気が漂ってありました。

まだまだ制約も多い中での開催となりましたが、今年度の総会実行委員会を運営するにあたり、山形西高の先生方、事務室の皆様、生徒の方々、同窓会三役の皆様、同窓生の先輩後輩には多大なるご支援を賜りました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。(昭和60年卒 會津菜穂子)



令和に繋がれた伝統を感じて

令和7年度東京支部総会

令和7年6月15日(日)、ホテル椿山荘東京にて令和7年度嚶鳴同窓会東京支部総会が開催されました。校歌の歌声が会場に美しく響きわたり、母校の伝統と同窓生の絆を大変誇らしく感じるひと時です。

当日は約220名のご出席をいただきました。祝賀を受けられた方は、喜寿5名の皆様です。喜寿を代表してご挨拶をいただきました小池和子様をはじめ、皆様お元気に長く活躍されるお姿を拝見し、活力を与えていただいたような気持ちとなりました。

来賓として、校長佐藤正寿先生、恩師三澤裕之先生、やまがた育英会理事山田篤志様、嚶鳴同窓会会長齊藤明美様、副会長鈴木京美様、石川由美

様にご臨席いただきました。私たち準備学年11名と恩師三澤先生とは卒業後実に30年ぶりの再会となりましたが、若々しくお変わりがない先生を囲み、語る思い出が尽きませんでした。

後半の懇親会には、現役アナウンサーの川越こず恵さん(平成7年卒)による「簡単アンチエイジング講座 声と表情磨きで若返り&劇的印象アップ」講座が開かれました。話し方のプロならではの指導に、各テーブルにいつそう大きな笑顔の花が咲いたように思いました。



繋がれたご縁を大切に思う特別な1日、ご協力を賜りました皆様に心より御礼を申し上げます。(平成7年卒 木村 絢子)

5年ぶりの酒田支部総会を終えて

嚶鳴同窓会酒田支部

コロナ禍により、酒田支部総会を中止せざるを得なかった状況の下、5年ぶりに支部活動を再開できたのは、本部の伊藤事務局長からいただいた「評議員会報告書」が大きな後押しになりました。それを参考に「コーヒーとケーキの短時間」開催を検討し、再開への準備を開始しました。

ところが、令和6年7月25日、酒田市を襲った線状降水

帯で甚大な被害を受けた地域があり、8月1日付けの酒田支部同窓会の案内状発送に躊躇いを感じました。既に準備ができており、茶話会での談笑が少しでも心安らぐ時間になることを祈念して発送した経緯がありました。

10月5日に第5回酒田支部総会を開催できました。茶話会で、豪雨被害の体験談を話すことで少し心が軽くなられ

たようで、皆様の笑顔で閉会でき、有意義な同窓会になりました。

令和7年度は、酒田支部創立から10年の節目です。郵便料金の値上げで、案内状送付に苦慮していますが、今年度の酒田支部総会開催に向けて活動しているところです。

(支部長 昭和43年卒 庄司 鈴子)

戦後80年特別企画

川崎市東京芝浦電気・明治産業への学徒動員と尊い犠牲

嚶鳴同窓会の事務室に、大切に保管されている「追悼の言葉」。
平成6年4月5日学徒動員殉難者「五十回忌法要」に、昭和
20年卒第一高女同級生を代表して加藤智子さんがしたための
言葉です。美しい筆文字で綴られた、その夜の川崎空襲の有様。
6名の先輩方と先生の尊い命が戦争によって奪われた事実を忘
れることなく語り継ぎ、平和への礎とするために、特別企画と
して直筆の全文を掲載します。

追悼のことば

田中先生 荒木さん 奥山さん 熊谷さん
小園さん 鈴木さん 皆様が亡くなされてから
もう五十年近い歳月が過ぎてしまったので
すね、そして、あの頃の皆様が同じお下げ
髪のお学生だった私達も、年齢を重ねて
そろそろ人生の—めくろ—の時期を迎え
頃となり—ま—たでも、私達は
決してあの日の事を忘れ—て—は—きません
もう記憶も—れ—勝ちですが、いくつかの場面
は今もまた心に焼きついていて、昨日の—こ—の
ように鮮明に甦つてまいります
この五十年間、七くたられた皆様に対して
—も—残つたという私達の負の目から、あの日
の事—人に話す—と—す—辛く、折にふれ思—
い—は、胸が—めつけ—られるような痛みを感
ずけ、今日まで—き—てまいり—た—でも皆様

方の尊い命の記録を、少しでも残—伝え—る—
が—き—残つたものの責任である—と思—い、今日は
あの日の—き—と思—い—お—き—て—み—たい—と思—います
昭和二十年四月十五日夜、就寝後間もなく
不気味に鳴りこく空襲警報のサイレンに眠り
をさ—め—され—た—その頃、連日夜中の空襲警
報で起—き—されて—いた私達は、—あ—またか—という
気持ちで、お—き—目—を—き—す—り—な—がり、いつもの
防空頭巾と救急カバンを身につけ、防空壕に
かけ—込—み—た—た—でも、その夜はな—か—く、解除
のサイレンが鳴—ら—ず、いつもは川崎市の上空を
—き—通—り—て—いたBの爆音が、身近か—な—う—た—と思
—い—う—同—じ—な—く、激—く、爆撃音が聞—き—えて—き—た—
壕の入口から外—き—の—き—て—み—る—と、—す—てに敵機の
投下—た—照明弾でまわ—り—は、昼のように明—く
—か—う—て—おり、焼夷弾で人家が燃—き—、空も真赤に
染—み—て—い—ま—した、そのうちパチ—き—と物が燃—き—る
音—が—した—ので、壕の外に—き—て—み—ると、—き—く、傍の
柵が燃—き—え—き—り—て—い—ま—した、このままでは危—い—

淋——せつとちというには余りにもむじく悲しい
 の方々の悲しみも如くばかりであつた。——よう
 荒木礼子さんとはとても帳面で礼儀正しく心優
 い方であつた。あの空襲の何れか前、客真屋さんで
 家に送る写真を撮ってきたの。とうれしうその顔で
 話してくれたことが忘れられず。その写真が
 礼子さんの遺影となつて——いま——た
 熊谷ちよさんは優秀な成績で女子師範の二期に
 合格され、優——誠実な人柄でみんなに信頼され
 親——られてゐた。
 小園漢子さんは何時も明るく朗らかにウイット
 に富んだ話方で周りの人を——く——てくれ、
 悦びさんのにぎやかな笑顔が人々もほろりと溶か
 てきます。
 奥山ふささんはとても優——くおだやかな女性
 であつた。卒業したら真先にお嫁さんね——と
 みんなに言われてに——いていた姿が思い出さ
 れます。
 工組の鈴木キヨさんは温厚で物静かなほんとう
 に優——い感じの方であつた。緻密な努力家だつたと
 聞つています。
 そしてクロッキーを胸に抱いたま——くなられた
 田中恵美さんは私達に絵を——く——の——と
 美——いものへのあ——がれを教える下さ——た
 皆様。ほんとうにいい方ばかりで——た。生前の
 皆様のお顔。お姿は人々もほろ——り私達の脳裏に
 やさ——つて何時までも消えることはありませ
 ん。何時の日か、私達が皆様のおそば近くに行つた時
 はまた昔の女学生時代に戻——く——と——ま——し
 うね。それまでどうぞ安らかにおやすみなさい。
 私達は皆様の大きな犠牲を——に——ないよう



新築なった嚙鳴会館で行われた山形第一高等学校学徒動員戦没者
 五十回忌法要にて追悼の言葉を捧げる加藤智子さん
 (嚙鳴同窓会報第20号より)



当時の動員時の作業衣

せめてそれぐの人々を精一杯生きて自らの身
 のためにもまた周りの人の——あ——わ——のためにも
 役立つよう、これから先も悔いのない生き方をしな
 ければと思つています。
 つたない言葉でござい——たが皆様の——と
 心から祈り致——して五十回忌の追悼の
 ことばとさせていただきます。
 平成六年四月五日
 同級生代表 加藤智子



動員先での卒業式



嚙鳴資料館内、学徒動員戦没者遺影・追悼コーナー

小雨の降る6月初旬、天童市のご自宅に神保俊先生（以下「神保先生」）をお訪ねしました。「いらっしやい。お久しぶり。」と当時と変わらぬ笑顔で迎えてくださり、一瞬で当時にタイムスリップしたような気持ちになりました。

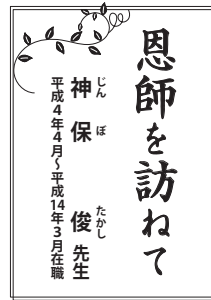
Q. 西高在職の10年間はいかがでしたか？

A. 「西高はとにかくパワフルで元気のよい、楽しい学校でした。個性あふれる生徒が多かった気がします。担任クラスの生徒が安食校長先生（当時）にアフロヘアのかつらを被せたり、担任に仮装させたり、担当学年は卒業式にサブライズで出し物をしたり……。印象的な思い出がたくさんあります。」

赴任した平成4年にはべにはな国体が開催され、私の担任した学年が、開会式典前演技で、太郎群の舞を雨の中鮮やかな青い衣装で演じました。練習のため本番まで何度も、会場と学校を往復しました。大学受験を心配しましたが、好結果が多く、ほっとしました。当時は、休日でも学校に来て勉強する生徒が多く、東北大や国公立の医学部など難関大学にも挑戦しました。県内の他の進学校に負けない頑張りを見せてくれました。かつての教え子たちが、いろんな分野で活躍している話を聞くと嬉しいですね。

です。

私の担当する数学では、西高伝統の「一日一題」（1日1問数学の設問を解く課題）や、理系クラスの0校時を行ったり……。数学でもみんな頑張ってくれたね。



先生の書斎にて
変わらぬ優しい笑顔でした

恩師を訪ねて

神保 俊先生
平成4年4月〜平成14年3月在職

平成9年から主任をした学年は、創立99周年に入学、101周年に卒業という、大変思い出深い年を共にしました。ユニークな面白い学年でした。学園祭では生徒たちが担任団のモノマネをしたんです。私は、授業でよく計算違いをしたのですが、「あれ？計算合わないなあ。」というシーンをモノマネされました。よく見ているなあと感じました（笑）

Q. 部活動顧問の思い出は？

A. 「ソフトボール部を8年間、剣道部を2年間担当しました。特に、ソフトボール部では後半の4年間で監督として、村上先生や渡部先生とともに指導にあたり、一度だけ県のベスト4になることができました。私自身、野球が好きなので、グラウンドでノックをするのが楽しかったですね。また、冬季練習場として、保護者の方々の協力で、巨大ビニールハウスを設置することができました。雪深い山形の冬でもトレーニングに集中することができましたし、熱い信頼関係が生まれたと思っています。」

Q. ご退職後はいかがお過ごしですか？

A. 「楯岡高校校長で退職後、数学の講師として高校で2年、県産業技術短大で10年、73歳まで勤めました。現在は地域の町内会の役員をしたり、菩提寺の事務局業務

をしたり、何かと動いています。かつて共に教壇に立った先生方と集まって、お酒を飲みながら交流したりもしています。先生方の近況が聞けるのは嬉しいですね。」

西高生、同窓生へ
メッセージをお願いします。

「可能性を広げるために、今の自分を磨くことが大事かなと思います。今の時代、『これが絶対』と決めつけず、いろいろな人の話を聴き、本を読み、学び続けることが大切かな。最近は私もYouTubeを観たりしています。新しい発想に出会ったり、おもしろいですね。」

また、私の好きな言葉に『如是我聞』があります。仏典で見かける言葉です。『あなたの言葉は』私にはこのように聞こえております。『ということではないのかな。私は自分が話をするのが好きですが、他人の話を聴くのが苦手です。』

令和2年度 嚶鳴同窓会総会 おめでとうございます。

今年度の総会運営の当番学年は平成12年3月卒と平成13年3月卒ですが、私は、平成12年3月卒業学年の学年主任をさせていただいた神保と申します。

今日は、総会にご招待いただき、ありがとうございます。

私は、平成4年4月から平成14年3月まで10年間、山形西高校に勤務させていただきました。その間、2度、学級担任として卒業生を送り、今回の当番学年では、学年主任として卒業生を送ることができました。

この学年で、印象に残っていることのひとつは、入学式が県民会館で行われたということです。当時、体育館の新築工事が行われており、体育館で入学式を行うことができなかったからです。そして、卒業式は、新しい体育館で行うことができました。

そして、この学年が2年生のときに、山形西高校は百周年を迎えました。

この年の文化祭、嚶鳴祭のテーマは、OH MAY GIRLS BE HAPPY! ですが、サブテーマは「スタートラインだよ 全員集合」とし、101周年の文化祭を盛り上げました。

結局、この学年は、西高99年目に入学し、101年目に卒業したことになります。平成13年卒業生にとっては、ちょうど百周年の年に入学し、102年目に卒業したことになります。

西高の節目の時の2つの学年が、今回の嚶鳴同窓会の当番学年ということになります。

また、私個人のことになりますが、私は10年間の中で、8年、ソフトボール部の顧問を、2年、剣道部の顧問をさせていただきました。ソフトボール部の8年の内、後半の4年間は監督をさせていただきました。

教室での授業とともに、グラウンドでノックをしたり、汗を流したりしたことも貴重な思い出となりました。ソフトボール部の保護者の方には、冬期間の練習場として巨大なビニールハウスづくりにご協力いただきました。

西高生の勉強だけでなく元気なパワーに、私も大きなパワーをもらうことができました。

10年間だったように思います。元気で活発な西高パワーの嚶鳴精神の伝統が長く続くことを祈念してお祝いの挨拶とします。

コロナの影響でお招きできなかった令和2年度の同窓会総会、恩師代表としてお言葉を考えてくださっていました。幻となったしまった神保先生のご祝辞。



「正調花笠おどり」 でつなぐ山形の夏

平成14年卒 菅野 綾

毎年8月、山形の街を彩る花笠まつり。「ヤッショ、マカショー」のかけ声と笠が舞う光景は、山形の夏の風物詩です。私は花笠まつり舞踊指導員会の花笠舞踊団の一員として活動しています。

指導員会は、日本舞踊の各流派の先生方で構成され、会長は昭和50年卒の須藤泉先輩（藤間松廣先生）。他にも多くの嚶鳴同窓会の先輩方が活動されており、世代を超えた嚶鳴同窓会の繋がりを実感する機会もあります。

近年はヒップホップやフラダンスなど、多様な踊りが花笠まつりを盛り上げていますが、私たちは第1回から受け継がれてきた「正調花笠おどり」を守り、毎年まつりパレードの先頭集団で踊りながら、その美しさと伝統を伝えていきます。

指導の中で何より嬉しいのは、子どもたちが練習を重ねる中で上達し、笑顔で踊る姿に出会えることです。伝統の踊りを伝える難しさはありますが、努力を重ねた子どもたちが自信を持って踊る姿に、大きなやりがいを感じています。

花笠まつりは、踊る人も見る人も一緒になって作り上げるお祭りです。世代を超えた交流や地域の誇りを育む場でもあり、子どもたちが初めて花笠を手にして踊る瞬間に立ち会えることは、何にも代えがたい経験です。これからも山形の夏をみんなで盛り上げていきたいと思っています。

この言葉を戒めにしたいですね。」

たくさん資料を準備いただき、思い出話に花が咲きました。いつまでもお元気でいてください。他の先生方の近況なども伺いでき、とても嬉しかったです。神保先生は当時のことを詳細に覚えていらっしやうて、楽しそう

（訪問者）

昭和56年卒 神保 由美
平成12年卒 浅井 恵子

いつまでも輝いて…

卒業生からのお便り

山形から京都へ、女将になるために

平成26年卒 笹原 三聖

この度は嚶鳴同窓会報に私の拙い文章を掲載いただけたこととなり、心より感謝申し上げます。私の実家は明治時代より続く料亭「亀松閣」を営んでおり、現在は若女将としてその暖簾を守る日々を送っております。

2011年4月、私は山形県立山形西高等学校へ入学しました。この年は3月11日に東日本大震災があり、新入生同士の会話のきっかけは専ら「震災の時に何をしていたか」だったのを覚えています。高

校生活に慣れはじめた一年生の夏、最初の進路面談がありました。学友たちがそれぞれ目標を定めていく中、私は最後のジュブナイルをどのように謳歌するかを思考を巡らせていました。というのも、当時の私は大人になつたら、植物が成長して花を咲かせるように、自然に料亭の女将になるのだと思ひ込んでいたためです。都会は楽しかったと言ふ父の言葉をうけ、東京の大学へ進学しました。好きな歴史の勉強と海外留学を果た

し、そして私は女将修行のため京都の料亭「嵐山吉兆」の門をくぐったのです。

そこで私は、自分の浅はかさを悔いることになりました。料亭とは、単に和食を提供するだけでなく、女将や中居のおもてなしと日本の伝統が伴った空間のことをいいます。吉兆で初めて習ったことは接客の仕方でもお店の履歴でもなく、おしほりの巻き方でした。巻き方をはじめ、どのくらい水分を含ませるのか、どのくらいの時間温めるのかを繰り返して教えられました。「おもてなし」とは、お客様とのやり取りの中だけでなく、手元にあるおしほりにまで込められているのです。嵐山吉兆では、新人がひとり接客できるようになるまで最低一年はかかります。今の時代、タイパもコスパも悪いと言われるかもしれませんが、それでも、お客様様の目に見えないところにま



で心をつくし、部屋に飾られている花がそこにある理由を語れるだけの知識を備えて初めて、料亭のもてなしだと思ふのです。振り返れば、京都での修行はそのすべてが学びであり、一つとして無駄にならなかったことはありませんでした。あの時の学びは今も、女将として生きる私の中で息づいています。

ファシリテーションは人生の分岐点

昭和63年卒 工藤 美季

「小学校の先生になりたい」。子どものころに抱いた憧れの職業につきながら約30年で退職。現職時代「ホワイトボード・ミーティング®」(ファシリテーション)の一つの方法に出会ったことがきっかけです。



現職時代と真逆の日々です。でもスクールに来る子どもも保護者も笑顔になっていく姿を見ると、最終的なゴールは同じだと感じます。話を聞く、共に過ごすときにファシリテーターとしてのポジションが生きています。不登校の子や発達障がいのお子さんが、依然として特別な存在として見られることに對する違和感。法人の活動は「令和のモテたこや」として子どもを取り巻く環境を整える役目と感じています。

「ファシリテーションは人権スキル」とも言われます。学校だけでなく社会全体に広めることでみんながファシリテーターになりお互いに生きていきやすくなる。そう信じてやるしかない!という毎日。分岐点で自分が選んだセカンドキャリア。たくさんの方に支えていただき進んでいけることに感謝しながら楽しんでいこうと思います。人生100年時代。まだまだ楽しめます。

*ファシリテーションとは、「話し合いの技術」



スポーツ大会で一枚皆さんと初対面でしたが、とってもフレンドリー!

初めて出会ったとき、自分の中でこれを次のキャリアにしたいと感じ退職までのプランをたてました。50歳を目の前にこんなのにめりこんで学びを進めることがあると思っていなかったの自分でもびっくりです。ホワイトボード・ミーティング®の「心の体力」の考え方に一目ぼれしたからでしょう。教員としてのスタンスの見直し、次のキャリアの扉を開くことになりました。



幸せを感じる天才たち

平成12年卒 浅井 恵子

うのは、「足るを知る」という言葉の裏にあるような慎ましやかな印象ではありませんでした。彼らは自分の気持ちにとても正直で、楽しいことは全力で楽しみ、嫌なことがあったときは我慢せず愚痴り、悲しいことには思いっきり涙を流します。一方で終わったことには固執せず、将来を悲観せず、まさに今を全力で生きるのですが、彼らの幸せそのものでした。サイクロンの被害で家が壊れても、「また建てればいいよ。」と瓦礫の横で記念撮影をしたり、「大変

大洋州に浮かぶ幸せの国「フィジー」。JICA海外協力隊・栄養士として、2年8ヶ月の間、糖尿病センターでの活動に携わりました。主な活動内容は糖尿病患者への栄養指導と村や職場での健診活動です。フィジーの方々はいつもととても明るく、笑顔が絶えません。彼らを一言で表すならば、「幸せを感じる天才たち」でした。

フィジーは、国民の主観的幸福度ランキング世界第1位と言われています。彼らと過ごす中で感じた「幸せ」とい



**全国高校総合文化祭
出場にあたって**
中村 恵以

人口減少と過疎化は私たちの故郷の山形県が抱える深刻な課題です。私はこの現状を解決したいという強い使命感を抱き、「声の伝える力で山形の魅力を発信し、一人でも多くの人の故郷への愛着を育むこと」が自分にできること



私は昨年度、フェンシング競技で県大会3位となり、あと一步のところでインターハイ出場を逃しました。その悔しさをばねに、日々の練習に全力で取り組んできました。練習に対する気持ちが落ちた時期もありましたが、外部の練習に参加し、コーチのご指導のもとで前向きな気持ちを取り戻しました。競技への向

**フェンシング
全国大会を前に**
長岡 陽奈

しかし、これはゴールではありません。この受賞を通過点とし、次は山形県の代表として、私の問題意識を全国に届けてきます。

喜びを感じています。

だと考えました。その想いを胸に、山形県高校総合文化祭に出場しました。弁論部門では「まちづくりへの参加をより身近に」というテーマで想いを訴え、放送・朗読部門では、本校OGの医師・志田周子先生の生涯を描いた『いしや先生』を発表しました。その結果、最高位である総合文化祭賞をいただくことができた、自分の思いと表現が認められたことに大きな喜びを感じています。

き合い方などコーチの言葉から学ぶことが多く、心から尊敬しています。フェンシングは、一瞬の判断が勝敗を左右する競技のため、練習後には動きを振り返り、改善を重ねています。今年出場を決めたインターハイでは、これまでの努力をすべて出し切り、一勝でも多く勝ち取ってきます。

同窓会入会式

令和7年2月28日卒業式前日に、本校体育館において令和6年度卒業生の同窓会入会式を開催しました。校長・事務部長・教頭・3年次担任団を来賓としてお迎えし、小笠原会長・鈴木副会長・齊藤副会長・伊藤事務局長4名で執り行い、193名の新たな門出をお祝いしました。渡部さくらさんの新入会員代表の挨拶では、未来への熱意を語ってくださった姿が頼もしく見えました。記念品の七宝焼き嚶鳴同窓会バッジ贈呈を白井さくらさんに、新クラス幹事委嘱状を新関ゆらさんにお渡ししました。これからのクラスの絆をより深めてくださいますよう期待します。

同窓会表彰式

同窓会入会式に続いて、2月28日午後から嚶鳴後援会と嚶鳴同窓会の表彰式が開催されました。令和6年度の嚶鳴同窓会長賞、特別活動賞の受賞者は左記の3名です。

嚶鳴同窓会長賞
【学業成績・人物・特別活動等優秀】
大瀧 皓子
(なぎなた部・弁論全国大会)
吉野 りお (校友会)

特別活動賞
【全国大会3位相当入賞】
石山 楓
(全国高等学校文芸コンクール小説部門最優秀賞・文部科学大臣賞)



令和6年度 (前号未掲載分)
〈全国高等学校総合文化祭岐阜大会〉
・新聞部門 参加 メディア創生部員
・弁論部門 出場 大瀧 皓子
・放送部門 アナウンス部門 出場 後藤 桜智
朗読部門 出場 志田 はな

〈全国高等学校総合体育大会〉
・陸上競技部 やり投 出場 鈴木ひより
・なぎなた部 団体試合 出場 浦安 美紅・卯月 藍花
演技競技 出場

〈全国高校選抜大会〉
・なぎなた部 個人試合 出場 石澤 悠妃

〈その他の全国大会〉
・全日本高校ボウリング選手権
高校女子の部 出場 平田 璃子

・メディア創生部
第39回全国高等学校文芸コンクール
小説部門 入選 牧野 楓

・クッキング部
第55回 FHJ-日清製粉グループ全国高校生料理コンクール
入選 後藤 芽里・高子 結衣
山田 美樹・三戸満莉奈

・書道部
全日本高等学校書道コンクール 準大賞
(部門全国2位相当) 湯村 心遥

・放送部
第71回NHK全国高等学校放送コンテスト
アナウンス部門 出場 後藤 桜智
朗読部門 出場 志田 はな
ラジオドキュメント部門 出場
第14回安達峰一郎記念世界平和弁論大会
高校生の部 最優秀賞 梅津 后
「大切な命を守る」全国中学高校作文コンクール

警察庁長官官房審議官賞
第44回全国高校生読書体験記コンクール
第70回全国青少年読書感想文コンクール
第11回全国高等学校ビブリオバトル2024

〈東北大会〉
・登山部 5位
・剣道部 個人 出場 齋藤 まな・笠原 心
・水泳部 800m自由形 出場 100m自由形 出場 池田 樹里
100m平泳ぎ 出場 安達 桂
・水泳部(外部活動) 200m個人メドレー 出場 高梨 涼寧

・なぎなた部 団体試合 出場 浦安 美紅・卯月 藍花
演技競技 ベスト8 石澤 悠妃・菅 春名
演技競技 出場 石澤 悠妃・菅 春名
・フェンシング(外部活動) 女子フルーレ 出場 長岡 陽奈

〈東北高校新人大会・選抜大会〉
・なぎなた部 団体試合 出場 石澤 悠妃・齋藤 真穂
演技競技 出場
・音楽部
第91回NHK全国学校音楽コンクール東北ブロックコンクール
第76回全日本合唱コンクール東北支部大会
銅賞 銅賞

・放送部
第28回東北高等学校放送コンテスト宮城大会
アナウンス部門 入選 遠藤 陽向
朗読部門 入選 中村 恵以
朗読部門 奨励賞 瀬谷 美保

〈令和7年度 (6月中旬まで)〉
〈東北大会〉
・陸上競技部 円盤投 出場 田中あおい
走高跳 出場 金 来伶奈

・登山部 団体 5位
・なぎなた部 団体試合 出場 石澤 悠妃・齋藤 真穂
演技競技 5位 川口 結羅・日塔 杏珠
演技競技 出場

・フェンシング(外部活動)
女子エペ 8位、女子フルーレ 6位 長岡 陽奈

〈山形県高等学校総合体育大会〉
・陸上競技部 円盤投 3位 田中あおい
走高跳 6位 金 来伶奈

・登山部 団体 1位 東北大会インターハイ出場
・なぎなた部 団体試合 2位 東北大会出場
演技競技 3位 東北大会出場
石澤 悠妃・齋藤 真穂
演技競技 4位 東北大会出場
川口 結羅・日塔 杏珠
・フェンシング(外部活動) 女子エペ 2位、女子フルーレ 1位
東北大会・インターハイ出場 長岡 陽奈

〈山形県高校放送コンテスト〉
・放送部
朗読部門 1位 中村 恵以
朗読部門 5位 瀬谷 美保
アナウンス部門 2位 伊藤 小晴
アナウンス部門 4位 遠藤 陽向
テレビドキュメント部門 4位
以上 NHK杯全国高校放送コンテスト出場

〈維持会費・寄付について〉
新事務局の連絡先や維持会費の
納入方法をお知らせしています。

〈出欠フォーム〉
同窓会の会議や総会の
出欠を連絡できます。

〈問い合わせフォーム〉
同窓会関係の質問やご意見
にメールでお答えします。

山形県立山形西高等学校
Oumei Dou Sou Kai
山形同窓会

維持会費・寄付について 出欠フォーム お問い合わせフォーム

TOP お知らせ 会長挨拶 山形同窓会について アカシアだより 山形同窓会報 同窓生の活躍 会員専用ページ

会報やアカシアだよりは、
表紙をクリックすると全号、
全頁をご覧になれます。

会員専用ページの閲覧は
下記の入力が必要です。
ユーザー名 oumei-m
パスワード oumei

〈外部リンク〉
西高・東京支部・山形男女声
合唱団のホームページに
リンクしています。

スマホ版ではレイアウトが
異なりますが同じ内容を
ご覧になれます。

山形同窓会 ホームページ ぜひご覧ください!



おうめいどうそうかい

または

山形 おうめい

検索

※「お知らせ」は、アカシアだよりの発行や
総会情報などを随時更新しています。

※これまで会報に掲載していた同窓会会
務報告・行事予定は事務局からの「お
知らせ」に、維持会費納入状況は、「会
員専用ページ」に掲載しています。

ご冥福をお祈り申し上げます

佐藤(里見)義子 (S 29 南高)	荒井(渋谷)文子 (S 36 西高)	佐々木(板垣)昭子 (S 39 西高)	川崎(川崎)紀子 (S 43 西高)	黒田(鉦谷)栄子 (S 35 西高)	五百川(佐藤)三代子 (S 24 西高)	佐治 昭子 (S 33 西高)	伊藤(伊藤)恭子 (S 30 西高)	吉岡(加藤)道子 (S 32 西高)	小林(五十嵐)イト (S 20 高女)	日向寺(高橋)泰子 (S 45 西高)	松石(佐藤)瑞穂 (S 32 西高)	川合(松倉)紘子 (S 39 西高)
-----------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	-------------------------	--------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------

インフォメーション

- 鈴木よし子さん(昭和43年卒・元同窓会長)が、『週上 佐治よし子句集』(ふらんす堂)を出版されご寄贈いただきました。
- 小池和子さん(昭和41年卒・一級建築士)から『自然災害に備えて 住まいづくりの勘どころ』(UIFA JAPON、国際女性建築家会議日本支部発行)をご寄贈いただきました。
- 湯村常子さん(昭和36年卒、湯村春興元小原流山形支部長)が、令和6年度第70回齋藤茂吉文化賞を受賞されました。

編集後記

昨年からは広報委員として会報編集に携わり、編集会議での広報委員のチームワークが絶妙で感服しました。その中で同窓生や在校生の活躍されている姿を知りました。会報を通して、皆様とその喜びを分かち合うことができれば幸いです。会報の作成にあたり、ご協力いただきました皆様に御礼を申し上げます。

(平成15年卒 佐野亜紗美)



広報委員

○広報委員 (評議員)

佐逸瀧鈴富田
野見本木樫中
亜千悠千由裕
紗紗尋子尋子美
菅浅庄武神
野井司田保
恵未靖由
綾子来子美

問合せ先 080-7893-1641

(ショートメールにてご連絡ください)

メール: oumei.dousoukai24@gmail.com

事務局長: 伊藤和恵(昭和59年卒/旧職員)

事務局員: 遠藤重矢(平成18年卒/旧職員)

木曜日14時~16時は学校山形同窓会館1F事務室で

維持会費納入等に対応いたします。

同窓会事務局の案内
同窓会に関する情報(計
報・変更・問い合わせなど)
は、学校事務局・職員室
ではなく、左記まで
お知らせ
ください。



前列は新三役

同窓会報への

お便りを

お待ちしております

宛 先/〒990-2492

山形市鉄砲町1-15-64 山形西高校内

山形同窓会 会報編集室

「同窓生からのお便り」係

お願い/卒業年、住所、電話番号をご記入の上
お送りください。

問合せ/080-7893-1641

*学校の電話ではありません。

メール/oumei.dousoukai24@gmail.com



令和 6 年度 いんりゅう同窓会会計決算書

【一般会計】

1 収入の部

(単位：円)

項 目	6年度予算額(A)	6年度決算額(B)	増減(B-A)	備 考
1 繰越金	7,085,426	7,085,426	0	R 5 年度残金
2 維持会費	1,100,000	1,281,000	181,000	5,000円×255クラス 3,000円×2クラス
3 入会費	950,000	965,000	15,000	5,000円×193人
4 会 費	950,000	965,000	15,000	5,000円×193人
5 雑収入	74	7,054	6,980	利息2,654円 名簿購入代金4,400円
計	10,085,500	10,303,480	217,980	

2 支出の部

(単位：円)

項 目	6年度予算額(A)	6年度決算額(B)	増減(B-A)	備 考
1 総会費	2,000,000	1,501,552	△ 498,448	
2 支部補助費	300,000	210,000	△ 90,000	
3 会議費	60,000	54,174	△ 5,826	評議員会・クラス幹事会
4 後援費	130,000	133,000	3,000	活動助成金・全国大会激励金・文化部公演補助
5 表彰・記念品費	600,000	501,427	△ 98,573	生徒表彰・10年勤続表彰・入会記念品
6 広告宣伝費	300,000	303,600	3,600	ホームページ管理・広告料
7 慶弔費	50,000	25,332	△ 24,668	弔電・祝電・祝花・送別花代
8 印刷発行費	300,000	224,850	△ 75,150	会報・名刺印刷代
9 事務費	650,000	582,273	△ 67,727	事務用品・人件費・光熱水費
10 通信運搬費	200,000	152,490	△ 47,510	インターネット利用料・電話利用料・郵送料・宅急便
11 旅費交通費	150,000	57,400	△ 92,600	交通費
12 支払手数料	10,000	3,290	△ 6,710	振込手数料・各種手数料
13 諸 費	10,000	8,800	△ 1,200	卒業アルバム購入費
14 予備費	5,325,500	3,000,000	△ 2,325,500	特別会計（基本金）へ繰出
計	10,085,500	6,758,188	△ 3,327,312	

総収入額 10,303,480円 - 総支出額 6,758,188円 = 残金総額（繰越金）3,545,292円

【特別会計】

(単位：円)

	期首残高	収 入	支 出	期末残高	増 減	備 考
いんりゅう同窓会基本金	4,354,892	3,003,708	0	7,358,600	3,003,708	一般会計より繰入 3,000,000円 3,708円
いんりゅう同窓会名簿会計	2,046,882	930	0	2,047,812	930	利息
いんりゅう同窓会記念事業費	7,731,370	3,515	0	7,734,885	3,515	利息

令和 7 年度 いんりゅう同窓会会計予算書（案）

【一般会計】

1 収入の部

(単位：円)

項 目	7年度予算額(A)	6年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
1 繰越金	3,545,292	7,085,426	△ 3,540,134	R 6 年度残金
2 維持会費	1,100,000	1,100,000	0	5,000円×220クラス
3 入会費	950,000	950,000	0	5,000円×190人
4 会 費	950,000	950,000	0	5,000円×190人
5 雑収入	7,708	74	7,634	利息他
計	6,553,000	10,085,500	△ 3,532,500	

2 支出の部

(単位：円)

項 目	7年度予算額(A)	6年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
1 総会費	2,000,000	2,000,000	0	
2 支部補助費	300,000	300,000	0	
3 会議費	60,000	60,000	0	評議員会・クラス幹事会
4 後援費	150,000	130,000	20,000	活動助成金・全国大会激励金・文化部公演補助
5 表彰・記念品費	600,000	600,000	0	生徒表彰・10年勤続表彰・賀寿記念品
6 広告宣伝費	300,000	300,000	0	ホームページ管理・広告料
7 慶弔費	50,000	50,000	0	弔電・祝電・祝花・送別花代
8 印刷発行費	300,000	300,000	0	会報・名刺印刷代
9 事務費	650,000	650,000	0	事務用品・人件費・光熱水費
10 通信運搬費	200,000	200,000	0	インターネット利用料・電話利用料・郵送料・宅急便
11 旅費交通費	150,000	150,000	0	交通費
12 支払手数料	10,000	10,000	0	振込手数料・各種手数料
13 諸 費	10,000	10,000	0	卒業アルバム購入費
14 予備費	1,773,000	5,325,500	△ 3,552,500	
計	6,553,000	10,085,500	△ 3,532,500	